

友の会だより

No.79

2026.07

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

ガレの陶芸Ⅱ —奇想と幻想の造形世界—

会期：2026年7月11日（土）～9月23日（水・祝）
主催：茨城県陶芸美術館
後援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、産経新聞社水戸支局、東京新聞
つくば支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、Lucky FM茨城放送

19世紀後半のフランスを拠点に活躍したエミール・ガレ（1846-1904）は、ガラス、陶芸、木工家具を製造・販売するガレ商会を率いて、自社の作品を万国博覧会等で発表し、世界的に高い評価を得ました。実業家であり芸術家でもあるガレは、アール・ヌーヴォーを牽引した代表的な人物です。本展ではガレの業績の中でも陶芸作品に焦点をあて、その展開と魅力を紹介する展覧会です。当館では2020年に「ガレの陶芸展」を開催しました。今回は、ガレ商会のロングセラーの猫の置物や、北斎漫画をもとにしたものなど貴重な作品を含む、前回とは異なる121点の作品から、その全貌を紹介します。



エミール・ガレ
置物 猫形
1860年代



エミール・ガレ
小物入れ「海の怪獣」
1878-80年



エミール・ガレ
花器 フランス菊形
1880-85年



エミール・ガレ
蓋物 虫形
1889年



エミール・ガレ
鉢 蜻蛉文
1889年

※記載の年号はデザイン年 ※作品はすべて個人蔵

●展覧会関連催事のご案内

*詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。お問い合わせください。

●クロストーク「ナンシーとその近郊、ガレの陶芸制作の現場から」（予約優先／定員90名）

ガレ研究の専門家である山根郁信氏と担当学芸員が、ガレの活動拠点ナンシーやその近郊の豊富な写真を交えながら、ガレの陶芸制作の背景を紹介します。

講師：山根郁信氏（美術史家） 聞き手：名村実和子（当館主任学芸員）

日時：9月20日（日）13：30～15：00

会場：当館1階多目的ホール

●ケラモンのワンダールーム

ケラモンと一緒に、作って、触って、調べて、美術館を楽しもう！

大人も子どもも楽しめる体験コーナーです。ガレの陶芸Ⅱに関連する内容もあります。

日時：7月11日（土）～9月23日（水・祝）※休館日は除く 各日9：30～16：30終了

参加費：無料

●ケラモンのおはなしのへや+（プラス）（※要企画展観覧券／予約不要）

読み聞かせ+工作も楽しめる、子どもから大人まで参加できる会です。

日時：8月22日（土）14：00～14：45

参加費：無料

●かさま発見！スタンプラリーⅦ 期間：7月18日（土）～8月30日（日）

笠間市内のポイントを回るとすてきな景品が！

スタンプ用紙は各ポイントで配布、及び当館ホームページからダウンロードできます。

●つくば美術館土曜講座「ガレの陶芸の造形世界について」（担当学芸員による講演）

日時：7月25日（土）13：30～15：00 会場：茨城県つくば美術館2階アルスホール

●茨城県立図書館講座「ガレの陶芸、ナンシーの風景を交えて」（担当学芸員による講演）

日時：8月8日（土）10：00～11：30 会場：茨城県立図書館3階会議室1・2

（当館ウェブサイト）



茨城県陶芸美術館ホームページ <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

器づくりに魅せられて

小林 哲生 氏

対談は、笠間市矢野下にある工房で、小林さんのたくさんの石膏型や作品に囲まれながら行われました。



ご出身はどちらですか

茨城県です。

陶芸の道に進まれた経緯についてお伺いします。

「自分の領分を守る」仕事がしたいと考え、いろいろな職業を考えたのですが、その中から陶芸家を目指すことにし、師匠に弟子入りしました。師匠のいろいろな作品を見ながら、どのようにしたらそういった形が創れるのか、夢中になって考え、その面白さや奥深さを感じることで、ますます陶芸にのめりこんできました。

作品作りについてお伺いします。

現在は、生活で使う器を中心に作っています。こういった器は、型作りが中心で、工夫しながら市松文様や和柄文様など伝統的な文様を施しています。釉薬や装飾については、試行錯誤を繰り返しています。私の作品の釉薬は基本的には灰釉になりますが、発色や釉薬の厚みなどが気に入った状態に仕上がるのはまれで、満足できるようになるにはどうしたらいいか、いつも考えています。最近の釉薬では、陶芸大学校の研究会で紹介された笠間長石を使った釉薬が、良い質感であり使いやすいと感じています。

器については、何度も来て買ってくださいるリピーターのお客様にはとてもありがたいと思っています。使って楽しんでいただけるにはどうしたらいいか考えています。ある程度経験も積んできて、今回はうまくできたと思っていても想定外のトラブルが生じることもあり、あらためて陶芸の難しさを感じています。

今後どんなことをやりたいですか？

昼間は器づくりをして、夜は時間を作って、好きな作品を作りたいと思っています。どうやったらこんな作品が創れるのか、見る人に考えていただけるような物を作りたいと考えています。

また、釉薬もいろいろと試してみたいと思っています。灰釉の場合、灰の原料によって焼き上がりの発色が変わります。ビールやウイスキー作りに使う麦芽や、ワイン醸造所のブドウの木の灰を試してみたいと考えています。

プロフィール

- 1971年 茨城県生まれ
- 1992年 小林政美氏に師事
- 1993年 茨城県窯業指導所釉薬科修了
- 2000年 茨城県笠間市稲田にて独立（2005年に現在地に移転）
- 2017・2019年 日本陶芸展 入選
- 2018・2019年 東日本伝統工芸展入選
- 2019年 全国伝統的工芸品公募展・バイヤー賞
- 2020・2023年 全国伝統的工芸作品公募展入選

対談を終えて

ちょうど京成百貨店で予定している作陶展（期間：5月28日～6月3日）の準備でお忙しい中、対談のために時間を作っていただきました。小林さんの作品制作にかかる熱い思いが伝わってくる貴重な時間を過ごすことができました。今後とも、工夫された釉薬と、見ている人が考えさせられる器づくりに励んでいただきたいと思います。



笠間長石釉 花器



笠間長石釉 花器



灰釉 蒼波文 角皿



灰釉 蒼波文 深皿

友の会からの お知らせ

6月10日（水）に友の会理事会および代議員会を合同で開催しました。会議では、令和7年度の事業および会計報告、令和8年度の事業案および予算案、役員の改選が行われました。

令和7年度に実施した事業一覧

- 会報誌「友の会だより」の発行
76号／7月1日、77号／10月15日、78号／2月1日

つくる

- ボタニカルアート磁器絵付け講座
期 日：令和8年2月4日（水）2月17日（火）
講 師：ポーセラーツ守谷磁器の絵付け教室代表
萩原 恵子 氏
会 場：陶芸美術館地下1階研修室
参 加 者：11名



きく

- 講演会
期 日：9月28日（日）
講 師：飯田 國宏 氏（飯田好日堂）
演 題：「近代数奇者の美意識について」
会 場：茨城県陶芸美術館1階多目的ホール
参 加 者：68人

みる

- 国内研修視察
期 日：12月3日（水）～5日（金）2泊3日
訪問先：福井・金沢方面 ～北陸と陶芸と文化を楽しむ3日間の旅～
参 加 者：19人

呈茶会

- 期 日：11月13日（木）茨城県民の日
席 主：永地 宗米氏（裏千家）
参加人数 50名
会 場：陶芸美術館地下1階オープンギャラリー（立礼式）

令和8年度に予定している事業

- 会報誌「友の会だより」の発行
79号、80号、81号

つくる

- ポーセリンペイント陶磁器上絵付け講座
期 日：9月8日（火）10月7日（水）
講 師：萩原 恵子 氏
：ポーセラーツ守谷磁器の絵付け教室代表
会 場：茨城県陶芸美術館地下1階 研修室

きく

- 講演会（陶芸美術館で開催する企画展の関連行事をご案内します。）
① 企画展「ガレの陶芸Ⅱ」
期 日：9月20日（日）午後1時30分から午後3時
講 師：山根 郁信（やまね いくのぶ）氏（美術史家）
クロストーク：「ナンシーとその近郊、ガレの陶芸制作の現場から」
会 場：茨城県陶芸美術館1階多目的ホール
② 企画展「THE HEADLINERS2026」の関連行事
③ 企画展「笠間陶芸大学10周年記念展（仮称）」の関連行事
④ 企画展「リサ・ラーソン追悼展」の関連行事

みる

- 国内研修視察
期 日：12月2日（水）～4日（金）2泊3日
訪 問 先：【案1】四国方面 砥部焼、大谷焼、大塚国際美術館など
【案2】鳥取方面 青屋上寺地遺跡、石谷家住宅（国指定重要文化財）、鳥取民藝館など

呈茶会

- 期 日：11月13日（金）茨城県民の日
席 主：谷口 宗貴 氏（裏千家）
会 場：陶芸美術館地下1階オープンギャラリー

令和8年度役員の改正について

代議員会において会員の中から、監事に飯野 千賀子 様を選出されました。前監事の高崎 せつ子 様におかれましては長い間、ありがとうございました。

近隣の美術館の行事の紹介

①益子陶芸美術館	6/7～8/23 栃木県文化功労者受章記念 環境陶芸の地平 藤原郁三 展 9/6～11/29 江崎一生・加守田章二・森陶岳 1969-71 変容する陶の交差 展
②茨城県近代美術館	7/11～9/13 ヨシタケシンスケ展かもしれない
③日動美術館	7/25～9/27 さかなクンのギョ 苦楽展 第10回全国こども絵画コンクール in かさま
④五浦美術館	～7/12 関彰商事コレクション 齋籐清のパリそして日本 7/18～8/30 星に願いを、月に光を 展



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ	(土)(日)(祝日) 営業
笠間工芸の丘	0296-70-1313
笠間みんげい	0296-72-9280
かつら陶芸	0296-72-6688
ギャラリー桜	0296-72-0803
ギャラリー舞台	0296-73-0700
笠間焼窯元共販センター	0296-72-5665
さらら館	0296-72-3109

● 6月16日(火)～6月28日(日)

西村 俊彦 作品展

● 6月30日(火)～7月12日(日)

勝田 恭司・本巢 秀一 作品展

● 7月14日(火)～7月26日(日)

野村 晃子 作品展

● 7月29日(水)～8月23日(日)

第22回ねこ展 作品展

※ 8月10日(月)は作品入替のためCLOSE

● 8月29日(土)～9月13日(日)

宝泉窯 杉本 遊炫 作品展

向山窯	0296-72-0194
丹野陶房	0296-72-4028
陶芸館	0296-72-6650
東風舎	0296-72-5205
無限堂	0296-72-1695
やまさき陶苑	0296-72-6865
涼	0296-72-0712
ミュージアムショップ(館内)	0296-72-7105

レストラン「風の丘」(館内)

0296-72-0197

おすすめメニュー「風御膳」水を使わずに豆乳とゆばで練り上げた、特製“ゆばうどん”のセットメニューです。“ゆばがえし”をおつゆに

加えてご賞味ください。税込み1,850円



各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。)笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

一般会員：年会費3,000円

家族会員(※同居家族2人に限る)：年会費(2人で)5,000円

特典1 コレクション展・テーマ展が、何度でも無料で観覧できます。

特典2 企画展が年2回まで無料で観覧できます。

特典3 会報の無料配付(年3回)を受けられます。

特典4 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。

特典5 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会担当までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編集後記

暑い夏がやってきます。今年から、40℃越えを酷暑日と標記されます。つい先頃まで、35℃で猛暑日となつたばかりです。世界中が気候変動で苦しんでいます。人間ばかりでなく動物も……。各国の思惑もある中で、どうしたら温暖化を減少させることができるのか？人間の英知でこれ以上温暖化を進まないことを願っています。

友の会だより No.79

発行：令和8年7月1日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小葉 和子 鈴木 充 佐藤 誠